【学校通信】

平成 30 年 1 月 9 日

第 25 号

西中の風

～継続と徹底～

伊丹市立西中学校長

大西　規之

新年あけまして　おめでとうございます

　新しい年、そして３学期が始まりました。正月を含め、冬休みはゆっくりとできたでしょうか。３年生にとっては受験（受検）本番を目の前にひかえ、「今までしたことが無いくらい勉強した」という人もいるのでは無いでしょうか。さて、昨年１２月２３日（土）に正門に「門松」が飾られました。これは稲野小学校区地区社会福祉協議会等地域の皆様、ＰＴＡ会長（現・前）をはじめ執行部の皆様、野球部、演劇部の皆さんのご協力を得て作成しました。「門松」はその年の皆さんの健康や勉強がうまくいくことを約束してくれるすごい神様がよりつく物のことです。「門松」にあやかって、今年１年間そのようになるように皆さんも精一杯努力してください。また、今年は「戌年」です。戌年は戌の字がさすように滅する年、つまり草木が枯れて休眠する年ともいわれています。季節の変化を受け入れ休眠し、次の月（亥）に命の種と力を委ねるということなのです。つまり、戌年の由来はただ滅ぶことを憂えるのではなく、新しい命を育む縁起の良いものなのだとという意味です。しかし、何の努力も無くそのような縁起の良いことが起こるのでは無く、何事にも一生懸命に取り組むことによって起こると思います。「１年の計は元旦に有り」とよく言われますが、正月に立てた今年１年頑張る目標に向け、努力し続けてください。また、当たり前のことが当たり前にできる１年であってほしいと思います。

「学校診断」結果（速報）

　７月に引き続き今年度２回目の「学校診断」を１２月にとらせていただきました。お忙しい中、ご協力いただき誠にありがとうございました。今回の「学校診断」は７月と比べて生徒アンケートでは、２３項目中９項目が上回りましたが、１４項目は下回りました。保護者アンケートでは、２８項目中３項目が上回りましたが、２４項目が下回りました（１項目は同じ）（いずれもスマートフォン等に関する項目をのぞく）。７月のアンケート結果を受け、夏休みには全教職員で２学期の改善方策を決め、取り組んできましたが、十分に生徒、保護者の皆様の期待にお応えすることができませんでした。

　いただきましたアンケート結果及びご意見を真摯に受け止め、３学期以降の教育活動の改善に活かしていきたいと思います。詳しい結果は本校ホームページに棒グラフとともに掲載しておりますのでご覧ください。

【主な結果】

（１）生徒アンケートより

①肯定的な意見の割合が、１２月の「学校診断」において７月よりアップした主な項目（%）

・先生に進路のことについて相談できる。　＋２．８

・学校は（早寝・早起き・朝食をとるなど）規則正しい生活を心がけるように呼びかけている。　＋２．８

②肯定的な意見の割合が、１２月の「学校診断」において７月よりダウンした主な項目（%）

・自分は、授業で積極的に発言しようとしている。　－６．９

・授業はわかりやすく楽しい。　－５．６

・授業について、わからないことがあれば先生に質問できる。　－３．９

　ただ、１年前の同時期（１２月実施の「学校診断」）の生徒アンケート結果と比較して、「家庭で勉強する習慣がある」は＋１８．１となり、「連絡帳の改訂」、「１時間ごとの授業の振り返り」、「ことあるごとに保護者の皆さんに家庭学習の大切さを訴えたこと」などの取り組みがこの結果として現れたものと思われます。

（２）保護者アンケートより

①肯定的な意見の割合が、１２月の「学校診断」において７月よりアップした主な項目（%）

・学校は、授業・行事・委員会活動などで表現力（スピーチや発表する力）を高める取り組みを行っている。　＋１．５

・学校が生活の場として、清掃が行き届いている。　＋１．５

②肯定的な意見の割合が、１２月の「学校診断」において７月よりダウンした主な項目

・先生はわかりやすい授業に務めている。　－５．４

・進路のことについて相談する機会や場が設けられている。　－５．４

（３）重点課題

　以上の結果から、重点課題を①生徒の活動や思考する場を設定したわかりやすい授業の実施、②授業中における発言する場面の設定等を行い、課題解決に取り組んで参ります。